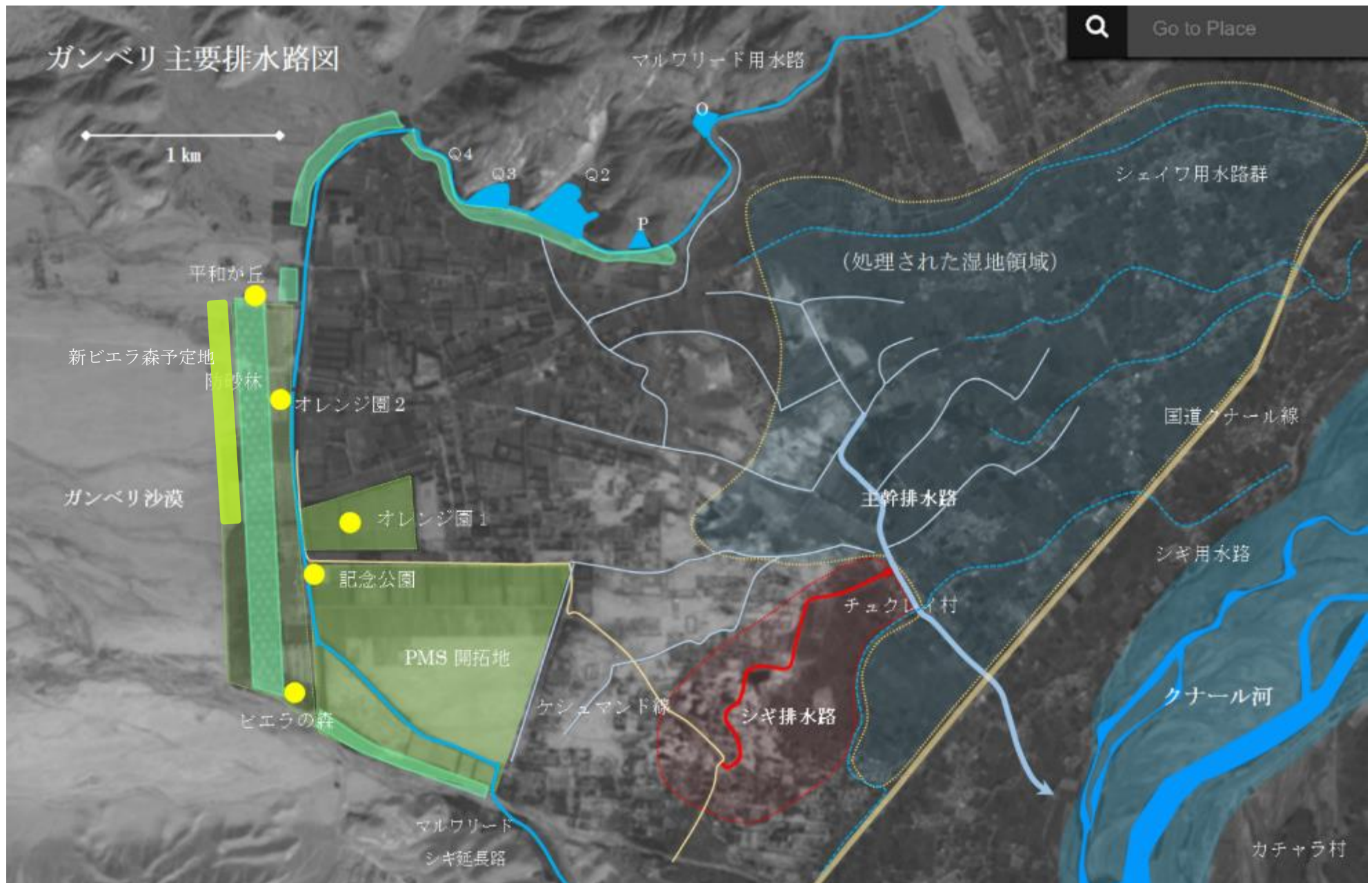


ガンベリ開拓地と排水路網。湿地処理を終えると開拓は急速に進む。現在約 300 ヘクタール前後が手つかずで、排水路網の完備が急がれる。PMS 農場では、蜂蜜の増産を真剣に考え始め、防砂林の沙漠側にビエラの森の大拡張を計画している。





シギ排水路域は決して広くはないが、砂丘が連続して見通しがきかない土地だった。やっと掘り崩して均し、ライニングと側壁の工事がのってきた。

2019年6月16日





練石積みで密閉せず、浸透水を流路に導くよう、50 cm間隔で径2 インチ（約 5 cm）の穴があけてある。2019 年 6 月 16 日





約 600m地点。貯留水の水位が最も高く、著しい軟弱地盤であったところ。ソイルセメントによる固化、砂利層による置換が成功してライニングが可能となり、工期を大幅に短縮した。2019 年 6 月 16 日





900m地点の架橋。これでルート 1,900mのうち、半ばまでを制覇。後はU字溝の作業 1 kmで、こちらは監督・作業員ともに経験が深く、慣れている。

2019年6月16日





左官のモハammad・カーヘル（約 40 歳）。ソルフロッド出身の腕利きの左官で、現場監督を兼ね、PMS のコンクリート構造物なら何でも作る。図面を読める人材の一人で、主に排水路を手掛けてきた。今回の軟弱地盤処理で自信を加え、意気軒昂。2019 年 6 月 20 日



モハammad・カーヘル



マルワリード流域シェイワ郡、稲作風景。マルワリード用水路流域の流れが改修で改善したことも与って、シェイワ郡全体で稲作が増えている。今後は土地改良を目的として、水稻栽培を適宜実施予定。2019年6月20日





平和丘周辺。移植後 4 年目のオレンジ園、樹間 4m はやや狭く、対策を考慮中。冬期に間引いて移植することもある。2019 年 6 月 20 日





現在ミツバチの巣箱はダラエヌールに移して、夏越しさせている。現在のビエラの森は約2ヘクタール、2500本が成長している。元々沙漠地帯に自生する灌木で、水やりの手間なく育つ。蜂蜜の思わぬ成果に、「アフガン特産・ビエラの蜜」に期待が集まってきた。ビエラは9月に花をつけ、やがて実を結ぶ。花も実も糖度が非常に高く、ミツバチたちが好んで集まる。皮算用では、秋にビエラ、春にオレンジ（ミカン類）、晩春と初夏にユーカリというサイクルで集蜜可能だ。無農薬で二万本のオレンジの樹を背景にする蜜も有望。6月に収穫したのはユーカリだったが、これが意外に美味しいもので、評判は上々。50の巣箱で二ヵ月300kgと聞いて、「これはいける」と皆色めき立ち、ガンベリはハニー・ラッシュ。PMSのドル箱になるか、話はかなり現実的になってきた。2019年6月20日

